

リーディング出演者大募集!

Space早稲田演劇フェスティバル2016 特別企画 VOL.2

北村想名作戯曲リーディング

「アングラから小劇場へ。廃墟劇:近未来劇の原点を創った劇作家:北村想」

現代演劇の原点である70年代アングラ演劇から、80年代には小劇場ブームが起きた。野田秀樹・渡辺えり子らの第三世代に続いて、鴻上尚史・川村毅・生田萬・北村想らが「近未来劇」=核戦争後の廃墟を舞台にした世界を描いた。なかでも北村想の『寿歌(ほぎうた)』は戦後戯曲のベスト作品と呼ばれている。

今回は、北村想・初期の代表作を若手演出家たちによってリーディング上演する。

●『作品』 演出家



『十一人の少年』 シライケイタ

東京都出身。俳優(白井圭太)、劇団温泉ドラゴンの座付き作家であり演出家。2013年若手演出家コンクール優秀賞・観客賞受賞。2015年ミリャン国際演劇祭戯曲賞受賞。日韓演劇交流を積極的に進めている。



『DUCK SOAP』 佐野ハビ市

長野県出身。演出家・脚本家・商業オカマ。役者バンド「こころは三河」ギター担当(弾けない)。劇団東京ミルクホール代表。劇団外の演出では、舞台、イベント、コンサートなど。2005年若手演出家コンクール最優秀賞受賞。



『グッドバイ』 スズキ拓朗

振付家・演出家・ダンサー。ダンスカンパニーチャイロイプリン主宰。コンドルズ所属。ダンス×演劇の新たな可能性を強く打ち出す公演を展開。舞踊批評家協会新人賞、日本ダンスフォーラム賞、2013年若手演出家コンクール最優秀賞。



『虎☆ハリマオ』 伊藤靖朗

脚本家・演出家・俳優。舞台芸術集団 地下空港主宰。2014年文化庁新進芸術家育成プロジェクトTOP演出家に選抜。ウェールズ国立劇場日本人招聘プログラムに選ばれ渡英。世界11ヶ国を旅した独自の感性による演出が高い評価を得る。

オーディション開催!!

募集人員：男女30名(経験不問)

オーディション日程：9月7日(水) 11時～ 新宿区内にて

オーディション参加費：1,500円(当日持参)

応募方法：プロフィール/芸歴書(写真添付)に「出演希望作品名」を明記の上、「フェスティバル事務局 リーディング係」までご郵送ください。

応募締切：8月31日(水) 必着

稽古日程：10月5日(水)～11日(火)のうちで調整

稽古場所：Space早稲田

公演日程：10月12日(水)～15日(土)

【お問合せ・お申込み】

流山児★事務所 「フェスティバル事務局 リーディング係」
〒162-0045 東京都新宿区馬場下町60 まんしょん早稲田307
TEL 03-5272-1785 FAX 03-3205-9170

ワークショップ参加者大募集!!

Space早稲田演劇フェスティバル2016 特別企画 VOL.3

大人のための流山児祥演劇ワークショップ2016 & 発表公演

「大人のための流山児祥演劇ワークショップ」

今年は、秋の開催です。演劇の面白さを見つけ、演劇で遊びましょう。

早稲田で待ってます。ぜひ、ご参加ください。

日 程：2016年11月28日(月)～12月4日(日) 1週間開催。

講 師：流山児祥(演出家・俳優・声優/日本演出者協会副理事長)

テキスト：寺山修司・岸田國士作品を予定。

資 格：40歳以上、経験不問。下記の全日程に参加できる方(20人限定)

稽古時間：11月28日(月)～12月1日(木) 18時～22時、
12月2日(金)～4日(日) 13時～21時

発表公演：12月4日(日) 18時～

場 所：Space早稲田

参加費：25,000円

応募方法：流山児★事務所に以下をお知らせいただき、お申込みください。

- ①お名前 ②性別 ③年齢 ④住所 ⑤電話番号
⑥メールアドレス(ない方は結構です)

応募期間：2016年10月1日～：定員になり次第締切。

【お問合せ・お申込み】

流山児★事務所 大人のための演劇ワークショップ係
〒162-0045 東京都新宿区馬場下町60 まんしょん早稲田307 TEL 03-5272-1785 FAX 03-3205-9170



Space早稲田

東京都新宿区早稲田町74番地 ビューロー早稲田B1
東京メトロ東西線 早稲田駅1番出口下車徒歩1分 階段を上って右へ、直ぐの角を右折

流山児★事務所(フェスティバル事務局) 東京都新宿区馬場下町60 まんしょん早稲田307
TEL: 03-5272-1785 Email: mail@ryuzanji.com URL: http://www.ryuzanji.com

Space早稲田 演劇フェスティバル 2016

「Space早稲田演劇フェスティバル2016」、4年ぶりに開催します。

この「危機の時代」に、再び小劇場演劇の《新しい出会い》を目指し、4年ぶりに“Space早稲田演劇フェスティバル2016”を開催します。劇場とは、自由に「他者」と《出会う》解放区であり、市民・民衆の自由空間(アジール:避難所)です。劇場を市民・民衆のアジールとするのが、わたしたち芝居者の仕事です。そんな芝居者の祭が“Space早稲田演劇フェスティバル”です。また、この演劇祭は、次世代を担う若い演劇人、実力あるベテラン演劇人たち、地方の演劇人たちの《出会い》と《交流》の場です。

オープニングは、流山児★事務所公演、詩森ろば(風琴工房)の新作書き下ろし・演出『OKINAWA1972』注目のロングラン公演で始まります。次は、いのちと家族をテーマにし、50万人以上を動員した大ヒットドキュメンタリー映画「うまれる」の一日限りの上映会を開催。好評の名作戯曲リーディングは、運動の演劇:佐藤信、山元清多に続き、80年代小劇場演劇の代表的劇作家:北村想の4作品を若手人気演出家、オーディション・メンバーで上演します。また、クロージング企画は、全国からの要請に応じて「40歳以上の大人のための」流山児祥演劇ワークショップ&発表会です。

未曾有の震災に見舞われた九州・熊本から九州「劇」派(福岡との連合ユニット)が、唐十郎作品を、東北・福島 of 劇団ユニット・ラビッツが、佐藤茂紀の新作音楽劇を引っ提げてやって来ます。そして、3回目の参加となる伊藤和重率いる人気劇団:IN EASY MOTION。初参加は、実力派けらんばんさらん商会、お笑いの世界から「おせつときょうた」が殴りこみ。注目の演劇プロデュースユニットAmmoも新作を上演します。

3.11以降、集团的自衛権行使、特定秘密保護法下の「危機の時代」の演劇がここにある。演劇は「時代を映す鏡」です。真摯に「現在」を創りあげるクリエイターたちとの《出会い》、舞台芸術の豊かさを実感する3ヶ月間をお楽しみください。

ふらりと、早稲田へおいでください。決して只じゃ帰さない!!

Space早稲田芸術監督:流山児祥

フェスティバル実行委員:谷宗和・龍昇・塩野谷正幸・阿萬由美・廣田裕美

絵:塩野谷正幸 レイアウト:植村慎一郎